

秋田県における教育・保育推進体制構築

◇秋田県における教育・保育推進体制の歩み

◇ わか杉っ子！育ちと学び支援事業(H28～30)

〈幼児教育の推進体制構築事業〉

◇ わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業(R1～)

〈幼児教育推進体制充実・活用強化事業〉



秋田県教育庁幼保推進課MC

よっちゃん ほっちゃん

秋田県教育庁幼保推進課

指導班 主任指導主事

齊藤 丈彦

県教育・保育アドバイザー

山上 真智子

秋田県教育庁幼保推進課の歩み

S46 幼保の一層の連携強化を当時の知事が提唱

生涯学習の視点から、幼・保の施設の違いはあっても、皆、小学校に行くのだから、幼稚園と保育所が連携することが大事という趣旨の提唱

- ・ 県教育庁に「幼児・養護教育課」を設置（S61）

H16 県教育庁に幼保推進課を設置〈幼保一元化〉（～H27）

◇ 県教育庁に幼保推進課を設置（幼保一元化）

指導主事、幼保指導員の配置 **※県のAD機能**

公・私立、設置形態を問わない研修機会の提供、園訪問支援事業

- ・ 保育所事務を補助執行（H16）

H28 「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」（～H30）

県と市町村の連携による推進体制構築（AD配置：3市） **※市のAD**

機能

R1 「わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業」（～R3）

能

H16 県教育庁に幼保推進課を設置〈幼保一元化〉（～H27）

所管研修

- ・ 園長等運営管理協議会
- ・ 教頭・主任等研修会
- ・ 新規採用者研修会
- ・ 保育実践力向上研修会（3年目対象 H28～）
- ・ 5年経験者研修会
- ・ 中堅教諭等資質向上研修
- ・ 就学前教育理解推進研究協議会
- ・ 乳幼児（0～2）保育研修会
- ・ 就学前・小学校地区別合同研修会
- ・ 園内研修リーダー養成講座（H28～）
- ・ マネジメント研修会（以下 H29～）
- ・ 特別支援担当者研修会
- ・ 保健衛生・安全対策研修会
- ・ 障害児保育研修会

保護者支援・子育て支援研修会 （単位：人）

研修名（H30名称）	研修参加人数（うち保育所）			
	H16	H20	H25	H30
園長等運営管理協議会Ⅰ・Ⅱ	125(48)	246(153)	280(200)	312(214)
教頭・主任等研修会Ⅰ・Ⅱ	87(19)	141(70)	248(162)	353(226)
幼稚園5年経験者研修	12(4)	44(33)	70(46)	108(64)
幼稚園10年経験者研修Ⅰ～Ⅴ	14(0)	38(27)	34(26)	87(50)
新規採用教員研修Ⅰ～Ⅷ	42(0)	72(28)	88(47)	170(89)

- 公・私立、施設形態を問わない研修体制
- 参加者数の増加
- ◇個別ニーズへの対応
- ◇園訪問時の研修内容の活用、PR
- 受入数の限界（H30申込み率130%）

H16 県教育庁に幼保推進課を設置〈幼保一元化〉（～H27）

訪問(指導主事、幼保指導員)

- ・ 計画訪問（公立幼・公立幼保連携型）
- ・ 要請訪問（全設置形態）
- ・ 認定こども園訪問（公・私立認定こども園）
- ・ 認定こども園サポート事業（認可・認定希望園）
- ・ 認定こども園公開保育研究協議会（H26～29）（キャリアステージ、個々の課題）

訪問の実際

- ・ 保育公開＋研究協議が基本
- ・ 園のニーズにより情報提供
- ・ 保育者に寄り添った指導・支援

< 保育所内研修支援・幼稚園要請訪問 >

明日の秋田を担うすべてのちびっ子県民のために



問い合わせ・北地区：秋田県教育庁北教育事務所幼保推進班 TEL 0186-62-1217
 中央地区：秋田県教育庁幼保推進課指導班 TEL 018-860-5134
 南地区：秋田県教育庁南教育事務所幼保推進班 TEL 0182-32-1101

年度	訪問数	訪問率
H17	138	40%
H20	198	53%
H29	283	72%

- 外部指導者を活用する園の増加
- 公・私立、設置形態を問わない活用
- ◇園のニーズに即した支援
- ◇保育者のキャリアステージに応じたきめ細かな支援
- 訪問数増加に伴う継続的支援の限界

H16～27の成果と課題

H16 県教育庁に幼保推進課を設置〈幼保一元化〉（～H27）

指導主事、幼保指導員の配置 ※県のA D機能
公・私立、設置形態を問わない研修機会の提供、園訪問支援事業

○研修量の拡大と研修内容の充実

- ・園の主体的な外部指導者活用の増加
- ・公・私立設置形態等を問わない研修参加者の増加

⇒教育・保育の専門性向上の機会提供

●市町村の教育・保育推進体制整備が不十分

県及び市～県と市町村の連携体制が不十分

市～身近な地域（市町村）の指導・支援者の育成

市～地域での研修機会の提供（地域で学び合う

体制）

園～研修を推進するミドルリーダーの育成が急務

⇒県が主体となった推進体制の限界

H28 「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」（～H30）

わか杉っ子!育ちと学び支援事業 (H28~30)

幼保推進課

(文部科学省委託事業)

予算額:

<目的>

多様な研修機会の提供等、幼児教育センターの機能強化を図るとともに、教育・保育アドバイザーの配置等、モデル市との連携による指導推進体制を充実させ、0~5歳児の教育・保育の質的向上を図る。

<課題>

指導に関する市町村の体制構築及び県との連携が不十分

研修機会提供や情報発信等、幼児教育センターの機能強化

園内研修を推進する研修リーダーの育成が急務

<事業の概要>

【県の取組 (全県)】

【県の取組 (モデル3市との連携)】

連携体制

【モデル3市の取組】

幼児教育センターの機能強化 4,111千円

モデル市の取組への支援
1,814千円

地域の実情や園のニーズへの対応
12,984千円

(1) 教職員の専門性の向上

- ① 県の教育・保育の指針の改訂、周知
・秋田県就学前教育アクションプログラムⅡ
- ② 保育者の専門性向上を図る研修機会の提供
・キャリアステージに応じた体系的な研修の見直し、実施
・県の課題に応じた研修(リーダー養成、円滑な接続)の実施

(2) 外部専門家等との連携

- ① 調査研究実行委員会による事業推進への助言、成果の検証
・教育・保育の内容に関するアンケート(悉皆)調査、結果公表
- ② モデル市に対する外部専門家の人材情報提供

(3) 事業の成果の情報発信

- ① 「平成30年度わか杉っ子!全国フォーラム in 大館」の開催
- ② ホームページや市町村訪問等による取組の情報発信

(4) モデル市教育・保育アドバイザーの育成

- ① 教育・保育アドバイザー連絡協議会の開催
- ② 県主催の研修会、園訪問への参加
- ③ モデル市の要請による県教育・保育アドバイザーの派遣

(5) 県とモデル市の連携・協力

- ① 県及び市教育・保育アドバイザーの連携・協力
・県とモデル市の連携による園の課題解決に向けた重層的支援
- ② モデル市の取組への助言
・調査研究実行委員会の提言

(6) 教育・保育の推進体制整備と地域の課題に応じた研修の充実

- ① モデル市教育委員会と市長部局が連携した教育・保育の推進体制の充実
- ② 市や園のニーズに応じた事業(研修、訪問指導等)計画の作成と実践
- ③ 教育・保育アドバイザーによる園の巡回や園の要請による訪問での指導・助言を通じた園の課題解決支援
- ④ 研修会や保育公開の実施等による事業推進の成果の多様な場で発信

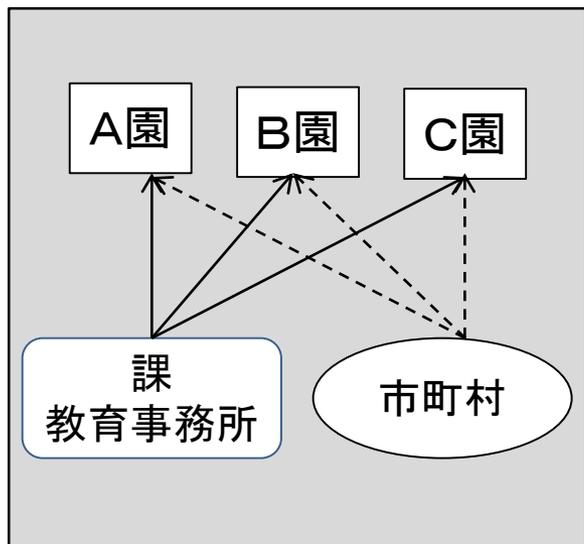
<効果>

○モデル市における取組の支援、県との密接な連携による教育・保育の推進体制の充実
○幼児教育センターの機能強化及び教育・保育アドバイザーの活用等による園内研修の充実

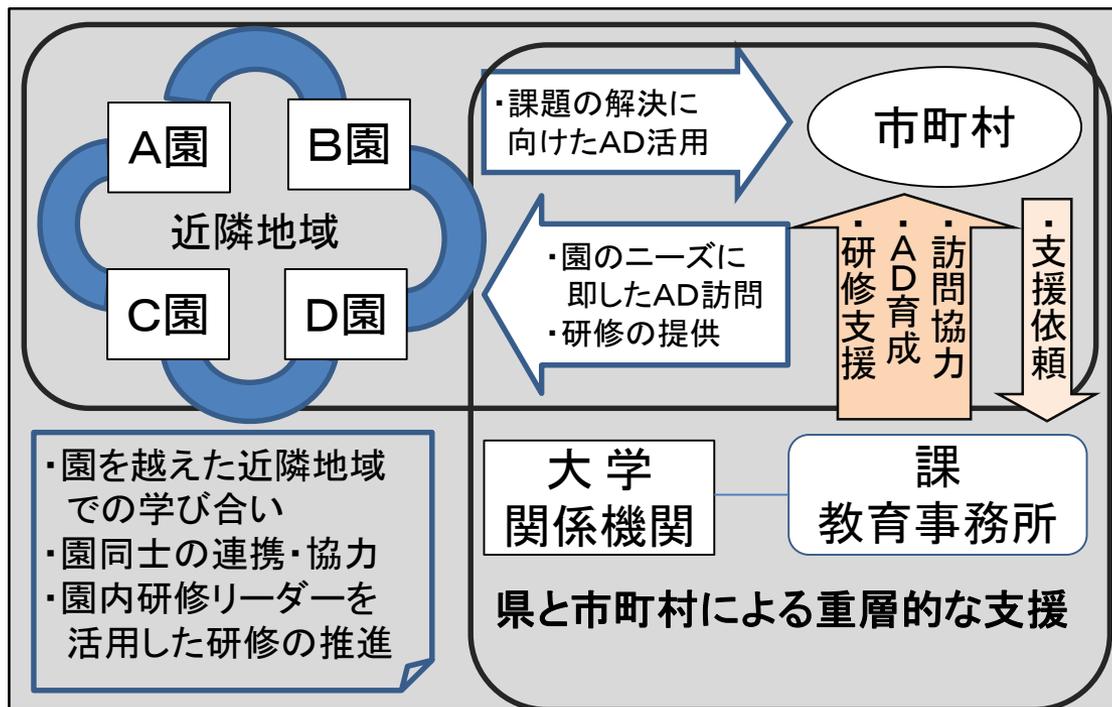
0~5歳児の教育・保育の質的向上

県と市町村の連携・協力による園の主体性や保育者の協働性を発揮した研修を推進するために

【従来のモデル】



【園を越えた学び合いのモデル】



・県の園に対する直接的な指導体制

・園を越えた学び合いを可能にする支援体制
 ・市全体や園の実情を考慮したADの支援
 ・市ADを支援する県のSB機能

アドバイザーの役割(モデル市の活用例)

種別	主な役割
園内研修	<p>【 教育・ 保育内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園の巡回訪問、園の要請による指導・ 助言 (保育内容、全体的な計画・ 指導計画作成、園の課題把握と対応、特別支援 等) ・ 研修計画の指導、公開保育の事前指導(指導案の作成支援等) <p>【 研修講師 園内研修支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修講師としての指導・ 助言 ・ 研修方法の指導 ・ 複数園での研修の提案や仲立ち ・ 資料の収集及び提供
保育公開	<p>【 講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育内容の指導・ 助言 <p>【 モデル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ協議のファシリテーター <p>【 研修の運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体進行、近隣市町村からの参加者への対応

**保育内容の指導者
研修のマネジメント支援
園内研修でのモデル
公開保育等の運営支援**

アドバイザーの役割(モデル市の活用例)

種別	主な役割
個別相談	<div data-bbox="1039 258 1852 522" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6f2ff;"> <p style="text-align: center;">保育者の個別支援 (キャリアステージ対応、離職防止) 園の課題分析・支援</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 【 個別対応】 ・ 園からの相談への対応 ・ 定期的な個別面談
実態把握	<ul style="list-style-type: none"> 【 教育・保育内容】 ・ 保育状況確認(確認後園長に改善点を指摘) 【 小学校教育への接続】 ・ 小学校教育への円滑な接続に向けた実態把握(参観、聞き取り) 【 課題解決】 ・ 園の課題解決に向けた県教育・保育アドバイザーとの連携
周知活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係先へのPR(アドバイザー活用方法例の例示等) ・ 小学校等に対して事業の意義や企画内容の説明
県と同行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保推進課所管研修等の各種研修会への参加 ・ 県訪問の同行、園のよさや課題の共有

アドバイザーの役割(モデル市の活用例)

種別	主な役割
その他	<p>【 専門性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 各種研修会への参加(県教育委員会主催の研修会、アドバイザー連絡協議会等) <p>【 周知活動】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 広報紙の作成、施設・ 小学校への訪問による配付 <p>【 保護者支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 家庭教育の支援(保護者向け子育て講座等での講話、家庭教育ガイド の作成) <p>【 団体からの要請】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市保育協議会主催の施設長や保育士対象の研修会での講話 <p>【 市主催研修会での指導・ 運営】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市主催研修会でのグループ指導、司会進行 <p>【 小学校への円滑な接続に関する支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 幼小連携の企画と仲立ち・ 小学校区ごとの接続期のカリキュラム検討会での指導・ 助言

保護者支援、団体からの要請、円滑な接続の支援

モデル3市との連携(市ADの育成・支援)

◇県教育・保育アドバイザーの配置 (H28～1名)

- A 市ADの育成と活動支援
- B 園の課題解決に向けた協議、情報収集
- C 市ADのネットワーク構築
- D 教育・保育の内容の指導の方向性の統一

県AD配置の背景

- ・市ADの経験値のばらつき
- ・市の指導体制整備

状況の差

- ・市独自の方向性

◇方法

① 教育・保育アドバイザー連絡協議会

(指導方法の理解、課題解決に向けた協議、ネットワーク構築)

② 県教育・保育アドバイザー要請訪問

(現地での支援による課題対応)

③ 幼保推進課所管研修への参加

(教育・保育内容の専門性、研修の企画・運営力の向上)

市ADが抱える悩み

◇園との関係性構築

- ・公・私立、設置形態、規模、独自性の理解と
- ・指導に入り込むステージまでの信頼感獲得

訪問数 (H3
配慮0)
大館市 1 1
7

◇保育者との関係性構築

- ・保育改善に主体的に取り組むための信頼関係、
- ・キャリアステージや園内の役割に応じた支援
- ・常勤・非常勤などの立場への配慮

男鹿市 1 2
効果的な支
横手市 3 0

◇園の多様なニーズへの対応

- ・多岐にわたる相談・支援内容 (特別支援、保護者対応など)
- ・園が求めるアドバイザー像 (県指導主事等のイメージ)

◇市の推進体制整備状況

- ・A D配置・相談体制 (幼児教育施策推進者の有無、AD 1名)

◇ADの資質・能力の向上の機会

県AD配置を核とした市AD育成の成果と課題

成 果

- ・市ADに対する園の信頼感、活用数の増加、園に寄り添った支援
(県ADを核とした技術面の支援の継続)
- ・市ADの意欲の継続
(市ADの精神面の支援、ニーズへの対応)
- ・市ADの指導の方向性の明確化
(園のよさや課題の共有)
- ・市主催研修会の開催
(研修会の企画・運営方法の指導)
- ・園の継続的な支援
(県・市外部指導者の情報共有による重層的な支援)



教育・保育アドバイザー連絡協議会

課 題

- ・市町村教育・保育アドバイザーの増加への対応
(R3までに8市と連携、市ADは20名程度の見込み)

R1 「わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業」(～R3)

県内外大学関係者、県内教育・保育団体(国公立幼稚園・こども園協会、私立幼稚園・認定こども園連合会、保育協議会)等

秋田県教育委員会

県北サテライトセンター

【北教育事務所 総務・幼保推進班】

- ◇ 班長 1人(兼副所長)
- ◇ 指導主事 2人
- ◆ 幼保指導員 2人

秋田県幼児教育センター

【県教育庁幼保推進課 指導班】

- ◇ 班長 1人(兼主任指導主事)
- ◇ 指導主事 4人
- ◆ 幼保指導員 2人
- ◆ 教育・保育アドバイザー 1人

県南サテライトセンター

【南教育事務所 総務・幼保推進班】

- ◇ 班長 1人(兼副所長)
- ◇ 指導主事 2人
- ◆ 幼保指導員 2人

北教育事務所
(生活科担当指導主事)

義務教育課、特別支援教育課
中央教育事務所(生活科担当指導主事)

南教育事務所
(生活科担当指導主事)

- ✓ 県は従来の幼児教育センターに加え、北と南にサテライトセンターを設置し、県北・中央・県南をカバー
- ✓ 秋田県幼児教育センターは、関係各課・所、大学関係者等と連携し、市町村の課題に対して情報提供
- ✓ 秋田県幼児教育センターは、市町村教育・保育アドバイザーに対して定期的に指導・研修等を実施
- ✓ 秋田県幼児教育センター、サテライトセンターは、市町村に指導者を派遣し、園内研修等で指導・助言
- ✓ 県は市町村と連携して、域内で学び合う体制構築や就学前施設と小学校との連携や教育の円滑な接続を促進

市町村教育・保育アドバイザーの配置、市町村小学校指導担当課との連携等

【県北地域・実施市】

2019:大館市
2020:北秋田市
2021:(鹿角市、能代市)

【県中央地域・実施市】

2019:男鹿市、湯上市
2020:秋田市
2021:(由利本荘市、にかほ市)

【県南地域・実施市】

2019:横手市、仙北市
2020:大仙市
2021:(湯沢市)

- ✓ 県は全ての施設の保育者を対象に専門性の向上、園内研修リーダーの育成、幼小接続等に関する研修会を実施
- ✓ 市町村は県と連携して、教育・保育アドバイザーによる巡回指導や公開保育研究会等を主体的に実施
- ✓ 教育・保育アドバイザー配置市町村は、近隣市町村の就学前教育・保育施設等に研修機会を提供

【県北地域・就学前施設】

74認可施設、26認可外施設

【県中央地域・就学前施設】

149認可施設、50認可外施設

【県南地域・就学前施設】

89認可施設、13認可外施設

子どもの居場所がどこであっても
「すべての子どもに質の高い教育・保育を保障」

連携体制拡充への対応

◇ サテライトセンター設置
と

県指導主事の増員
(市の支援の充実)

指導の方向性の確認

◇ 県AD配置 (AD連絡会)

◇ 県指導者の情報共有

◇ 就学前教育推進協議会

(各団体を巻き込んだ協議)

◇ 県作成の指針を活用した

指導の一貫性 (AP II)

県と市の役割の明確化

◇ 県・市外部指導者の役割
の

＜目的＞

「わか杉っ子!育ちと学び支援事業」(2016～2018年度)の成果を踏まえて、教育・保育アドバイザーを配置する市町村を拡充し、県と市町村が連携しながら、就学前施設への巡回指導や地域での研修等を実施することで、教育・保育の推進体制の充実・強化を図る。

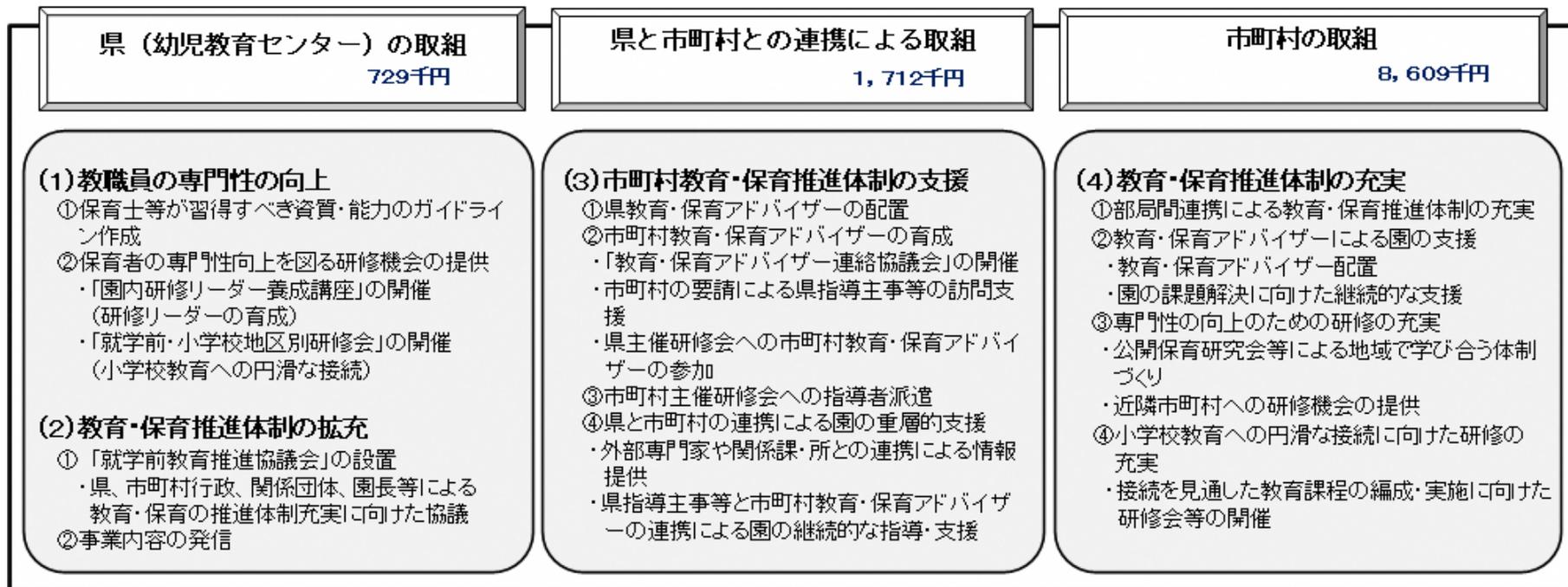
＜わか杉っ子!育ちと学び支援事業の成果＞

- ・県の課題に応じた研修会の充実(研修リーダー育成、小学校教育への円滑な接続)
- ・県とモデル市(大館市、男鹿市、横手市)との連携による教育・保育推進体制整備
- ・教育・保育アドバイザーの活用等によるモデル市での研修機会の充実

＜今後の課題＞

- ・園内研修の中核となるミドルリーダーの育成
- ・県と市町村との連携による教育・保育推進体制の拡充
- ・市町村での研修機会の充実による身近な地域で学び合う体制づくり

＜事業の概要＞



〈参考〉モデル市のアドバイザー配置・活用

大館市

☆施設数、公立・私立の割合、設置形態

対象施設(数)	38
設置形態(数)	幼1、保10、認8、他19
公立・私立(%)	公52% 私48%

☆事業開始前の状況(～H27)

指導者配置	H21年度以降、福祉課AD配置
訪問指導	県、市訪問を継続活用

幼：幼稚園（幼稚園型含む）、保：保育所（保育所型含む）、認（幼保連携型）、他（へき地等）

☆事業開始後の状況(H28～)

政策決定	教育委員会（福祉部局と協議）
事業内容周知	小中学校長会、各園長会、研修会、園訪問時
ADの配置	教育委員会1名（元保育所長、前保育AD）、福祉部局1名（元公立小学校講師）
AD活用促進	リーフレットで全園周知

☆訪問数、訪問内容(H29～)

年度	訪問数※1	園内研修	保育公開	個別相談	実態把握	周知活動	県と同行	その他※2
H29	100(44)	28.0	14.0	2.8	12.2	0.0	23.4	19.6
H30	117(100)	19.5	20.3	8.1	4.6	0.0	38.6	8.9

※1 括弧内は前年度実績

※2 その他：幼小接続に関する調査等

〈参考〉モデル市のアドバイザー配置・活用

☆施設数、公立・私立の割合、設置形態

対象施設(数)	9
設置形態(数)	幼2、保7
公立・私立(%)	公89% 私11%

☆事業開始前の状況(～H27)

指導者配置	なし
訪問指導	県訪問を継続活用

幼：幼稚園（幼稚園型含む）、保：保育所（保育所型含む）、認（幼保連携型）、他（へき地等）

☆事業開始後の状況(H28～)

政策決定	福祉部局
事業内容周知	県担当者を招き、市担当者と園長会議で説明
A D の配置	福祉部局2名（元公立認定こども園長、元私立保育所保育士、H28は1名）
A D 活用促進	園長会議で活用方法決定

☆訪問数、訪問内容(H29～)

年度	訪問数※1	園内研修	保育公開	個別相談	実態把握	周知活動	県と同行	その他※2
H29	119 (58)	15.6	4.7	55.9	2.8	5.0	4.5	11.5
H30	127 (119)	26.7	4.8	56.6	3.6	2.2	2.7	3.4

※1 括弧内は前年度実績

※2 その他：幼小接続に関する調査等

〈参考〉モデル市のアドバイザー配置・活用

横手市

☆施設数、公立・私立の割合、設置形態

対象施設(数)	34
設置形態(数)	幼4、保30
公立・私立(%)	公24% 私76%

☆事業開始前の状況(～H27)

指導者配置	なし
訪問指導	県訪問の活用は少ない

幼：幼稚園（幼稚園型含む）、保：保育所（保育所型含む）、認（幼保連携型）、他（へき地等）

☆事業開始後の状況(H28～)

政策決定	教育委員会と福祉部局の協議等
事業内容周知	独自広報紙発行、施設訪問時
A D の配置	教育委員会1名(元公立小学校)、福祉部局1名(元公立保育所長)
A D 活用促進	広報紙配付、ニーズ調査

☆訪問数、訪問内容(H29～)

年度	訪問数※1	園内研修	保育公開	個別相談	実態把握	周知活動	県と同行	その他※2
H29	356 (38)	4.0	1.2	1.2	0.7	75.8	1.8	15.1
H30	303 (356)	10.8	3.6	2.6	0.2	75.9	1.8	5.1

※1 括弧内は前年度実績

※2 その他：幼小接続に関する調査等

〈参考〉モデル市開催の研修会

H28年度

市	市全体(※1)	課題別	キャリアステージ別	担当年齢・職種別	公開保育	その他※2	回数(人)
大館	2(454)	7(239)	-	9(263)	2(113)	-	20(1069)
男鹿	2(133)	-	-	-	1(24)	-	3(157)
横手	2(136)	-	-	-	1(65)	-	3(201)

H29年度

市	市全体(※1)	課題別	キャリアステージ別	担当年齢・職種別	公開保育	その他※2	回数(人)
大館	3(254)	14(446)	21(272)	9(264)	9(288)	3(151)	59(1675)
男鹿	4(273)	-	1(30)	-	1(53)	-	6(356)
横手	2(171)	-	-	-	1(85)	1(102)	4(358)

※1 括弧内は参加者数 ※2 その他：幼小接続に関する研修会・事業、市内研究発表会等

モデル市	特色
3市共通	市全体の研修会の実施(市の課題、園のニーズ等)
大館市	圧倒的な参加数、様々な職種の対応 基幹保育園全園公開
男鹿市	ミドルリーダー研修会、若手対象の研修(H30) 全園公開研修(H30)
横手市	幼小接続に関する研修会・事業の充実

〈参考〉「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」アンケート調査から
(H28、H30の比較から)

A 園の変容(研修の推進)

園内研修の組織化

		回答数	①H30	②H28	①-②
①	行っている	60	92%	86%	6%
②	行っていない	5	8%	14%	-6%
		65	100%	100%	

・概ね組織化されている

園内研修リーダー

		回答数	①H30	②H28	①-②
①	園長・施設長等	3	5%	13%	-8%
②	教頭・主任保育士等	21	32%	49%	-17%
③	研修リーダー(研究・研修主任)	33	51%	21%	30%
④	保育者(輪番制)	7	11%	10%	0%
⑤	担当年齢毎の当番制	0	0%	0%	0%
⑥	特にいない	1	2%	1%	0%
⑦	その他(記入)	0	0%	5%	-5%
		65	100%	100%	

・研修リーダーの位置付けが明確化されてきている

・教頭・主任の負担が軽減されてきている

〈参考〉「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」アンケート調査から
 (H28、H30の比較から)

A 園の変容(研修の推進)

研修の計画的な実施

	回答数	①H30	②H28	①-②
① 研修計画に基づき計画的に実施	58	89%	75%	15%
② 研修計画はない必要に応じて実施	6	9%	13%	-4%
③ 実施が難しい	1	2%	12%	-10%
	65	100%	100%	

・計画的な実施に
結びついている

全職員による研修

	回答数	①H30	②H28	①-②
① 降園時間を早め、全員の参加を確保	3	5%	5%	0%
② 午睡の時間を活用	54	83%	39%	44%
③ 子どもの完全降園後に設定	4	6%	4%	2%
④ 子どもが少ない曜日、時間に設定	17	26%	14%	12%
⑤ 管理職等が保育に入り、参加を確保	7	11%	5%	6%
⑥ 保育者間の交替シフト	14	22%	3%	19%
⑦ 参加できなかった保育者に伝達	47	72%	17%	55%
⑧ その他(記入)	3	5%	13%	-8%

・雇用形態やシフトの
複雑化への対応に
より、組織的な研修
がされている

〈参考〉「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」アンケート調査から
 (H28、H30の比較から)

A 園の変容(研修の推進)

公開保育の設定

	回答数	①H30	②H28	①-②
① 外部に公開することもある	29	45%	39%	5%
② 園内に限るが設定している	20	31%	15%	15%
③ 設定していない	15	23%	45%	-22%
④ 無回答	1	2%	0%	2%
	65	100%	100%	

・園内外に公開し、
 参加者と共に協議
 するスタイルが定着
 しつつある



近隣市町村の保育者も参加した公開保育研究会
 (男鹿市立若美幼稚園)

〈参考〉「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」アンケート調査から
(H28、H30の比較から)

A 園の変容(研修の推進)

研修リーダーの育成

	回答数	①H30	②H28	①-②
① 育成している	40	62%	48%	13%
② 育成しているが進まない	7	11%	14%	-4%
③ 育成を考えているが進まない	13	20%	19%	1%
④ 育成していない	5	8%	18%	-10%
	65	100%	100%	

・研修リーダーの育成が進んでいる

研修リーダー育成に必要な支援

	回答数	①H30	②H28	①-②
① 県・団体等による研修会の提供	59	91%	41%	49%
② 外部専門家等との連携	25	38%	16%	22%
③ 市町村によるリーダーの育成支援	40	62%	30%	31%
④ 専門的な機関による情報提供	19	29%	12%	17%
⑤ その他(記入)	3	5%	0%	5%

・アドバイザーとの連携による育成が進んでいる

〈参考〉「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」アンケート調査から
(H28、H30の比較から)

A 園の変容(研修の推進)

外部人材の必要性

		回答数	①H30	②H28	①-②
①	必要性を強く感じる	23	35%	44%	-9%
②	必要性を感じる	42	65%	52%	13%
③	必要性を感じない	0	0%	4%	-4%
		65	100%	100%	

■概ね全ての園が外部人材の必要性を感じている

活用したい外部人材

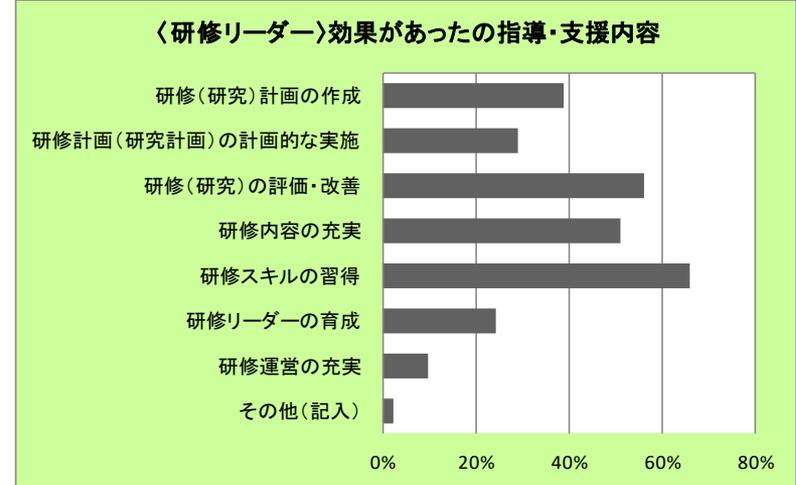
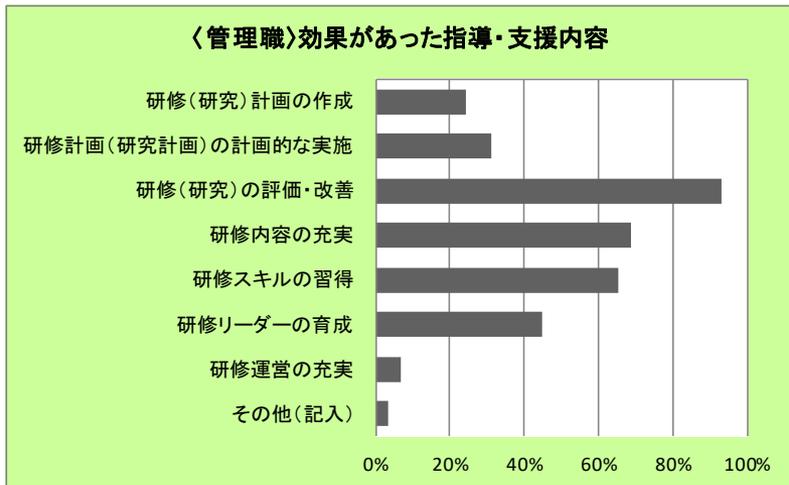
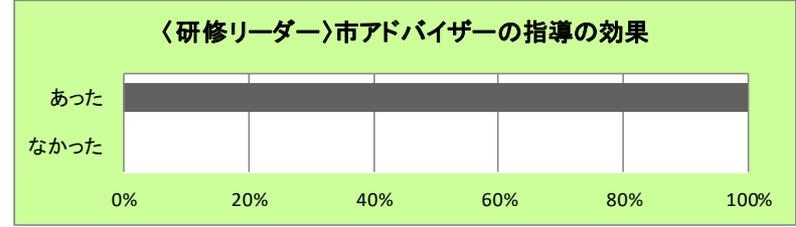
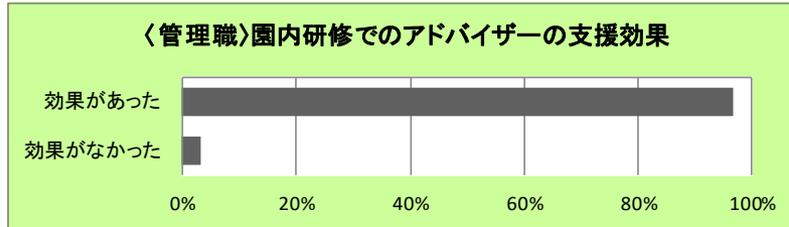
		回答数	①H30	②H28	①-②
①	小学校の教員	33	51%	28%	23%
②	特別支援教育学校の教員	54	83%	34%	49%
③	市町村の行政機関(アドバイザー)	50	77%	32%	45%
④	県の行政機関(指導主事等)	51	78%	37%	41%
⑤	県内の専門機関(大学、団体関係者)	21	32%	18%	15%
⑥	県外の専門機関(大学、団体関係者)	12	18%	6%	13%
⑦	その他(記入)	5	8%	1%	7%

■県、市町村行政を活用するニーズが高まっている

〈参考〉「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」アンケート調査から

B アドバイザー活用の必要性

1 〈園内研修〉研修リーダーの支援効果

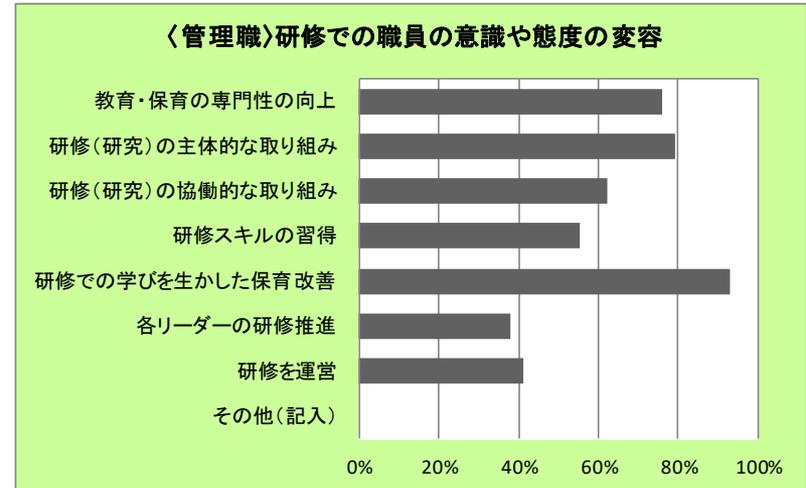
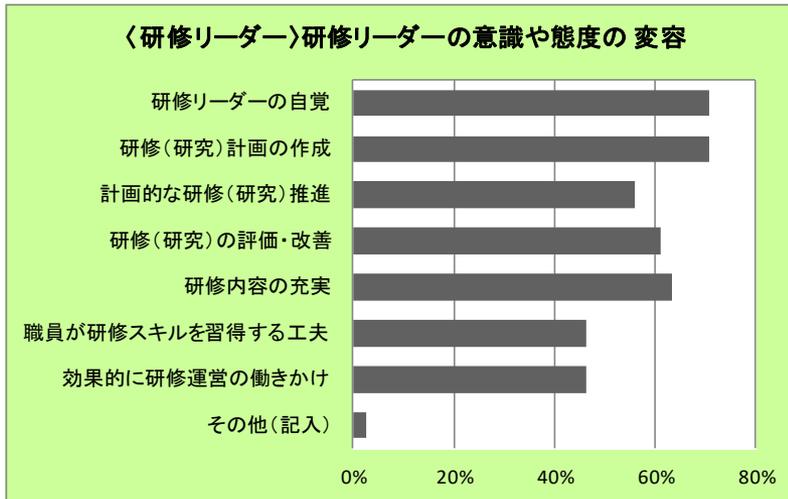


- ・研修の評価・改善、研修内容の充実、研修スキルの習得において、アドバイザーの継続的な支援効果が高い

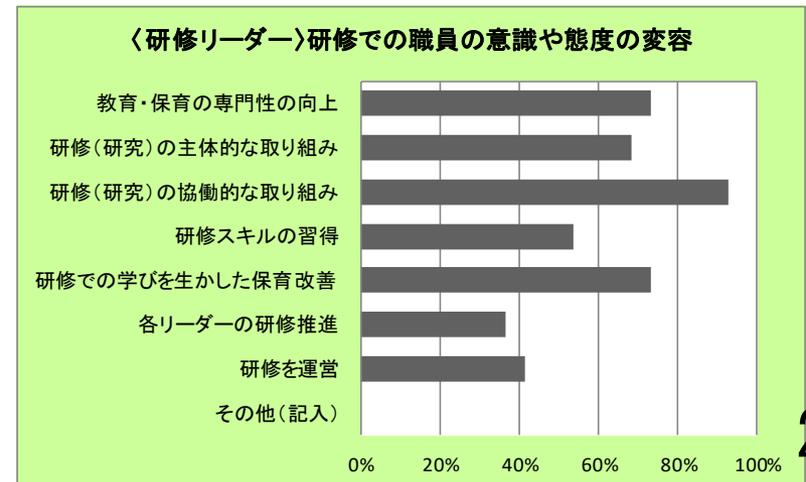
〈参考〉「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」アンケート調査から

B 教育・保育アドバイザー活用の必要性

2〈園内研修〉研修リーダーの変容、職員の変容



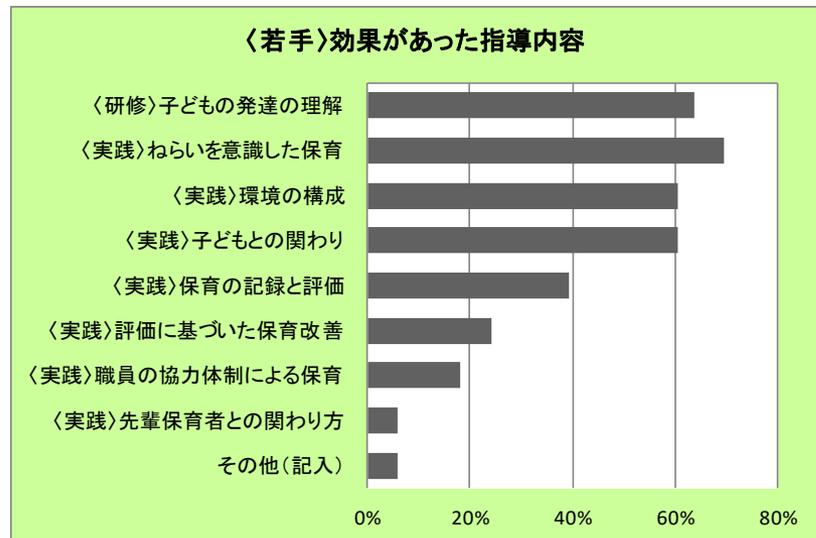
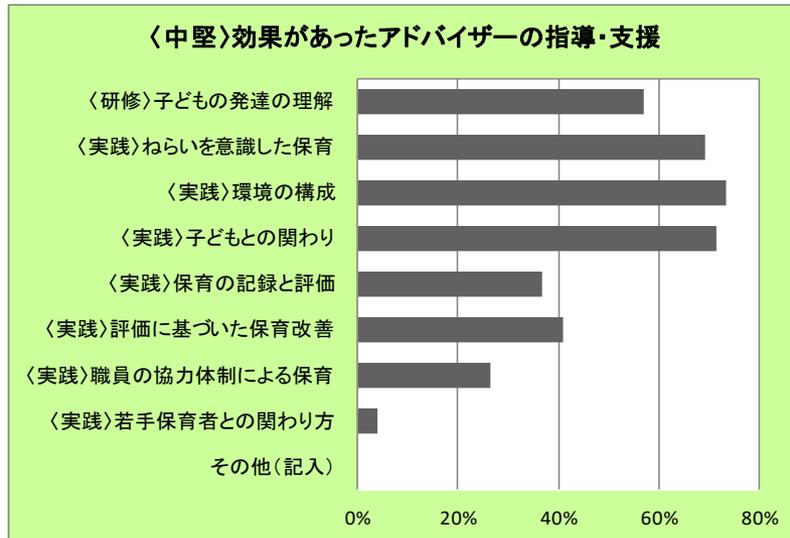
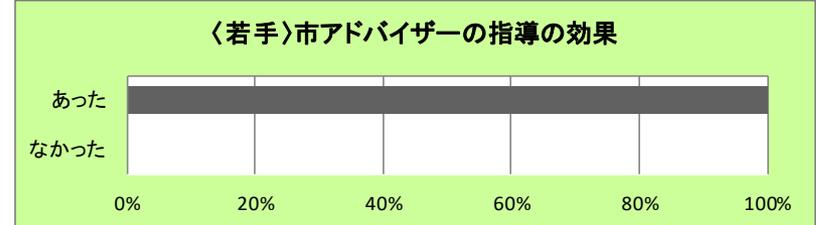
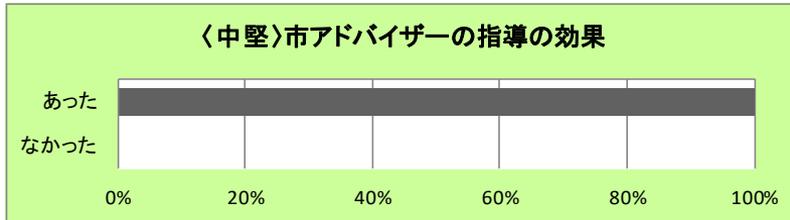
- ・研修リーダーの研修推進に対する自覚を高めている
- ・研修と実践が連動した保育改善がなされている
- ・協働的な取り組みがある



〈参考〉「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」アンケート調査から

B 教育・保育アドバイザー活用の必要性

3 〈保育実践〉保育実践に対するアドバイザーの支援

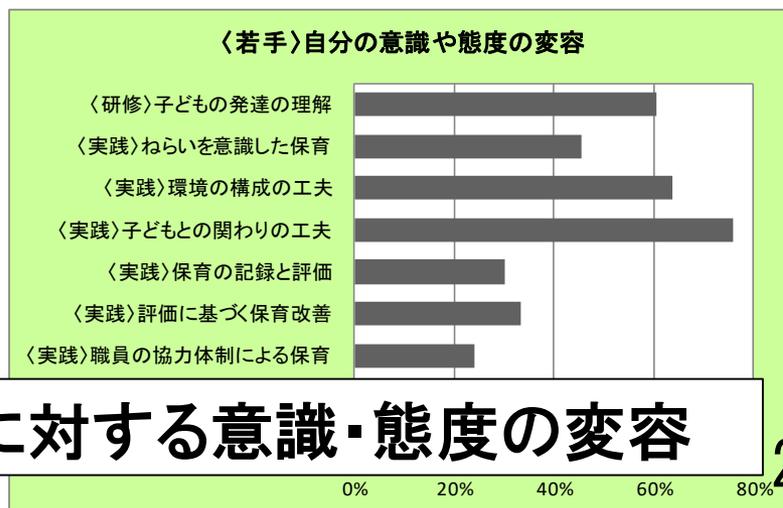
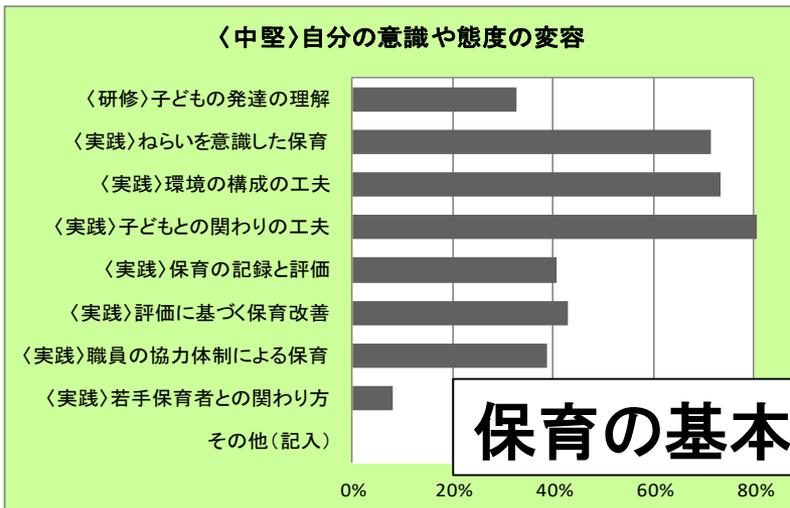
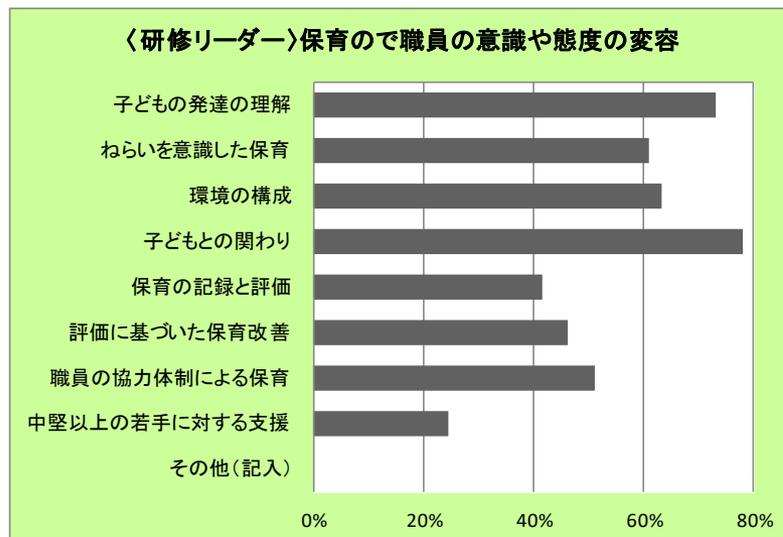
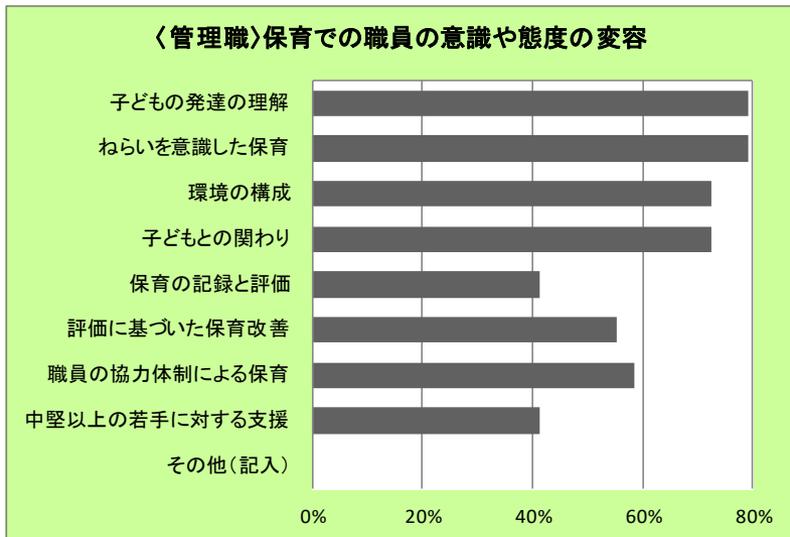


- ・保育の基本をアドバイザーと確認することで、保育改善に結びついてる

〈参考〉「わか杉っ子！育ちと学び支援事業」アンケート調査から

B 教育・保育アドバイザー活用の必要性

4 〈保育実践〉保育実践における職員の変容



保育の基本に対する意識・態度の変容